

西条・上小田中・下小田中地区の農業の将来の在り方を考える座談会を開催しました！（人・農地プラン座談会）

令和5年1月17日（火）に、地域農業の未来設計図（人・農地プラン）を考えるため、中央公民館で地域の方々を対象とする座談会を行いました。

座談会には32名の方が参加し、3グループに分かれ、地域農業の課題やそれを解決するためのアイデアについてワークショップ形式による話し合いを行い、その後リーダーから意見発表がありました。

時間の都合により、アイデアの話し合いができなかったグループもありましたが、今回の座談会で出た意見を抜粋してご紹介します。※一部、意見・グループ（分野）は統合、要約して表記しています。

意見グループ（分野）	出された意見（課題）	アイデア
農地に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に農地があり、気を使う ・畑への道が荒れている ・荒廃農地の増加 ・耕作条件の改善 ・農地の特性がわからない ・農地のマッチング情報不足 ・農地の相続 	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤改良 ・荒廃するまへの遊休農地の情報把握 ・離農予定者の把握
人に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による後継者不足 ・借り手の高齢化により農地が戻ってくる ・人手不足 ・若い人が少ない ・集落内に農業を始めたい人がいない ・農業に対する不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間雇用 ・外国人の活用 ・集落営農 ・シルバー人材センターの活用
品質・収入に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・価格の低迷 ・収入が少ない ・生産ロス（はね出し） 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の充実
農作業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・農機具が高い ・作業所がない ・機械更新に係る費用が大きい ・資材高騰、農薬が高い ・防除間隔が短い 	<ul style="list-style-type: none"> ・農機具の共有、リース ・きのこ使用済み培地の活用
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国の政策スパンが実情とあっていない ・補助金の条件 	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の方針を農家の実態に合わせる

・今後も座談会の開催を予定（日時未定）しております。地域の皆様のご参加をお待ちしています。

・地域の農地・農業を次世代に引き継ぐために、地域農業の未来設計図について一緒に考えましょう！

○中野市経済部農業振興課農政係

課長：小林英哉 係長：長張幸一 担当：小林貴幸

○中野市農業委員会事務局

局長：峰村昌志 担当：服部悠久夫

○中野市農業委員会委員：中沢光昭、宮川豊、小林公夫

○中野市農地利用最適化推進委員：竹内宣男

